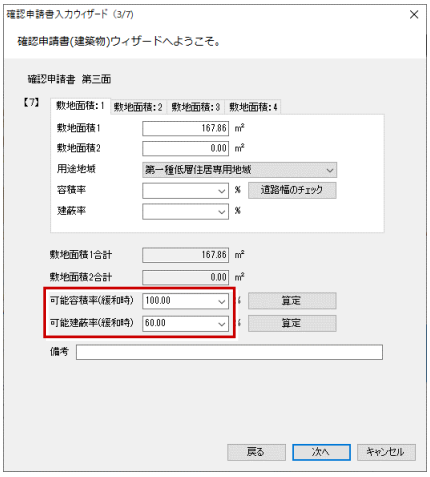
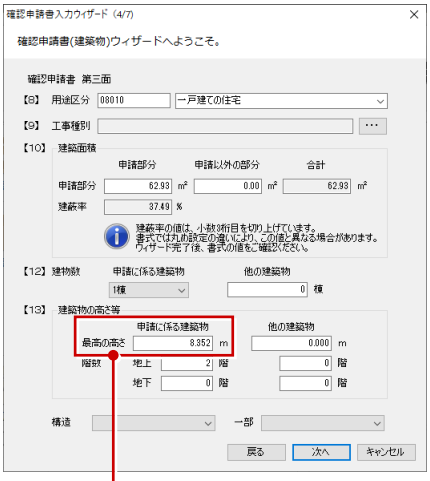
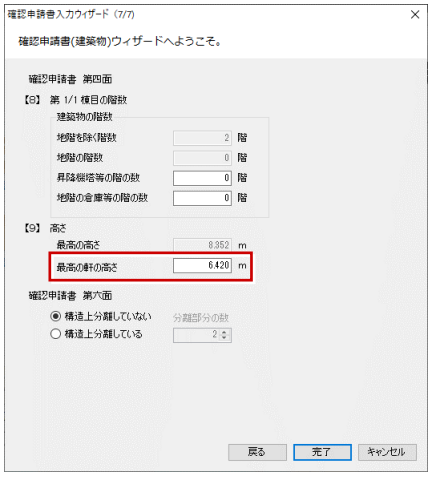
TREND CA Ver.4.2 の新機能

確認申請書：ZERO 連携対象項目の追加

確認申請書の入力ウィザードで、ARCHITREND ZERO Ver.6 で設計した物件の「最高高さ」「最高の軒高」「建築可能建蔽率」「建築可能容積率」を取り込めるようにしました。
作成する確認申請書の各項目に転記されるので、作成する手間が軽減されます。また、図面との整合性もとれます。

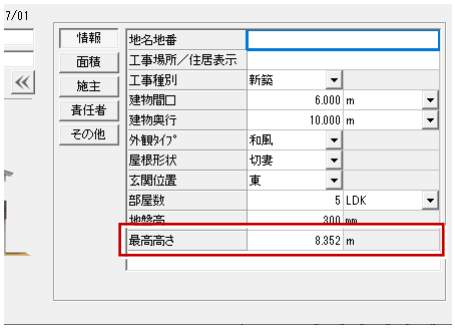






※ 建築計画概要書など、ウィザードで入力しない書式のテンプレートには連動しません。

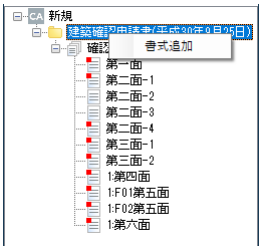
※ ZERO の物件情報の「最高高さ」から連携します。

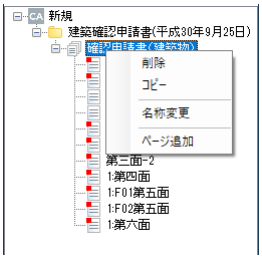


書式関連メニューの改良

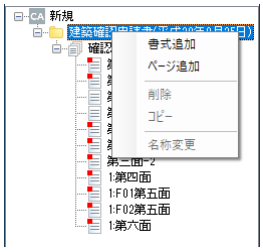
ページリストでテンプレートを選択している場合も、ページを選択している場合も右クリックで同じメニューを表示するようにしました。
同じメニューが表示されるので分かりやすくなります。
また、「ホーム」タブにも「書式追加」と「ページ追加」を用意し、書式やページを追加できるようにしました。ただし、選択したテンプレートによっては「ページ追加」が無効になる場合があります。

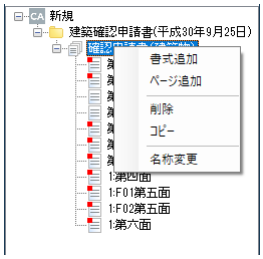
【Ver.4.1】





【Ver.4.2】



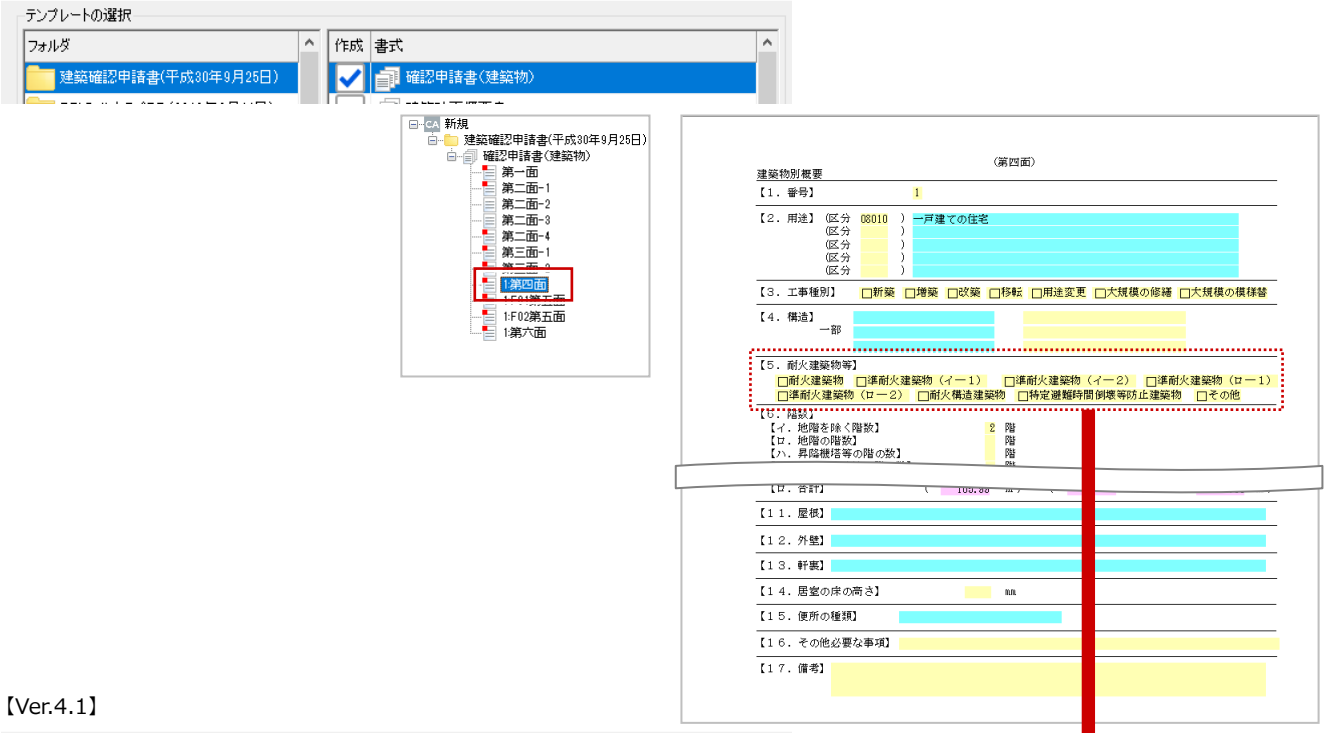


TREND CA Ver.4.1 の新機能

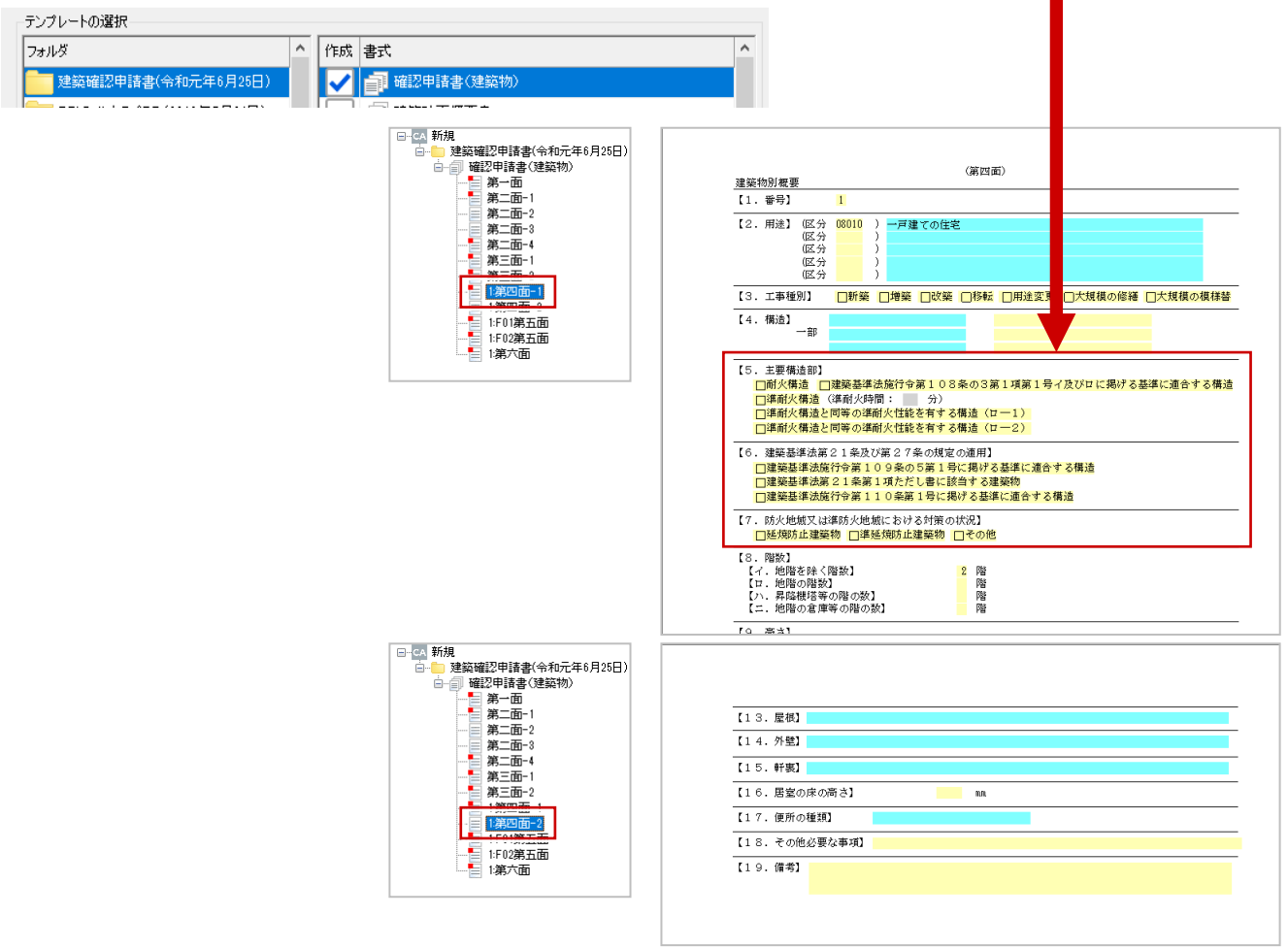
建築基準法改正対応

2019 年 6 月 24 日に改正された建築基準法の確認申請書書式に対応しました。
「第四面」のページが、「第四面-1」「第 4 面-2」の複数ページになります。

【Ver.4.0】



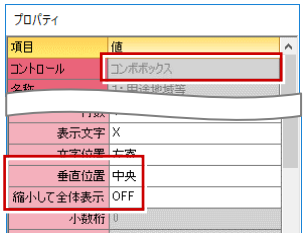
【Ver.4.1】



TREND CA Ver.4 の新機能

「縮小して全体表示」「垂直位置」を追加

テンプレート編集で、「テキストボックス」「コンボボックス」のプロパティに「縮小して全体表示」「垂直位置」を追加しました。この対応により、用途地域など入力文字数で表示されなかった文字が表示されるようになります。



【縮小して全体表示：OFF】（ 第一種低層住居 ）

【縮小して全体表示：ON】

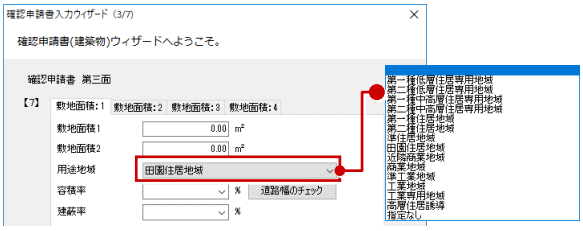
垂直位置「上寄」（ 第一種低層住居専用地域 ）

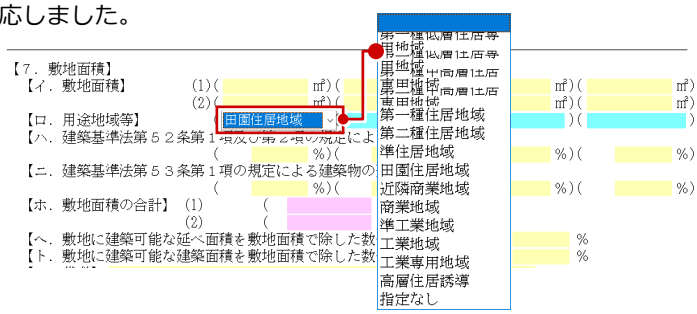
垂直位置「中央」（ 第一種低層住居専用地域 ）

垂直位置「下寄」（ 第一種低層住居専用地域 ）

用途地域に「田園住居地域」を追加

法改正により新設された用途地域の「田園住居地域」に対応しました。

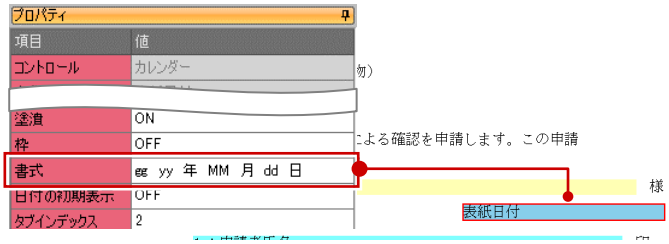




新元号表記に対応

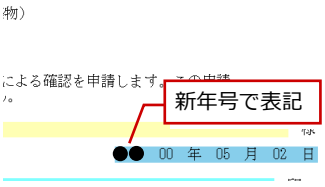
新元号表記に対応しました。テンプレート編集の「カレンダー」のプロパティで「書式」が「gg」と表示される設定であれば、年号が変わったときに本体プログラムで新年号表記されます。

※ Ver３以前に保存したデータは新年号に変わりませんので、データを開いて修正をお願いします。



【テンプレート編集プログラムの表示】

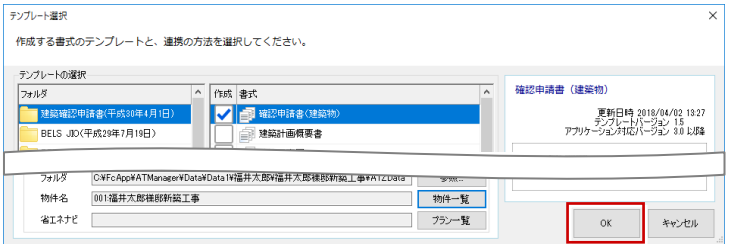
【新年号になると】

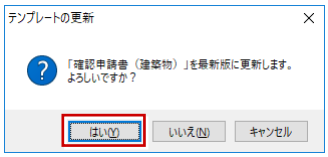


【CA 本体プログラムの表示】

テンプレート更新時にバックアップ対応

FC コンシェルジュなどからテンプレートファイルをダウンロードし、更新して初めて使用する場合、「テンプレート更新」の確認画面が表示されます。更新すると、「Template」フォルダ内の各申請フォルダに更新前のバックアップファイルを作成するように対応しました。





バックアップファイル：同じ名前のバックアップファイルがあった場合は数字をつける。

バックアップファイル：「元の名称＋（日付＋更新前）.rz$」で表示

更新したテンプレートファイル